

5 今年の4月合併 商工会の合併調印式



合併契約調印後、握手する市長と5商工会会長

12月3日、三角、不知火、松橋、小川、豊野の5商工会の合併調印式が市役所でありました。平成20年4月1日の発足を目指し、新たに宇城市商工会を設立します。

平成17年1月に5町が合併して宇城市が誕生したことを受け、5商工会は平成19年6月に合併協議会を設立。新商工会の名称や合併時期など25の協議項目に合意しました。

阿曾田清市長の立ち会いで5商工会の会長が契約書に署名。今年1月の各商工会の臨時総会で合併を議決すれば、会長や役員を選出し、県知事に新商工会の設立認可を申請することになります。

新商工会の会員は1,462人。本所は不知火町商工会（支所兼ねる）とし、その他の商工会は支所となります。

サンタクロースがお手伝い!? 三角中吹奏楽部も演奏

12月1日、三角西港で、飲酒運転防止などをドライバーに呼び掛ける交通安全キャンペーンがありました。このキャンペーンは、宇城地区交通安全協会などが市と宇城警察署とともに実施したもので、サンタクロースの格好をした交通指導員らが飲酒運転や高齢者の事故防止を呼び掛けるチラシを配りました。

後方では、三角中学校の吹奏楽部がサンタクロースにふんしてクリスマス曲を演奏。結城麻里子教諭の指揮のもと、県吹奏楽コンクールで金賞を受賞した腕前を披露しました。



サンタにふんしての演奏に盛んな拍手が送られました

響ヶ原で保存会が披露 人吉の臼太鼓踊り



力強い踊りに観客から大きな拍手が送られました

12月2日、豊野町響ヶ原の相良神社例大祭で、人吉市の熊本県無形民俗文化財「鬼木臼太鼓踊り」が奉納披露されました。

響ヶ原は、今から426年前の天正9年12月2日に、相良義陽率いる相良軍が阿蘇家の老将、甲斐宗運と戦って敗れた戦場で、相良軍740余名の戦死者の埋葬地です。「相良氏ゆかりの地で伝統芸能を」と、松橋町・豊野町両商工会が鬼木臼太鼓踊り保存会（犬童等一会長）に公演を呼び掛け、企画しました。

参加者約90人は、この踊りを初めて見た人も多く、力が入った戦場の舞を堪能しました。



市民の安心・安全な暮らしを守ります

災害時に十分な機能を発揮 宇城広域連合「南消防署」落成式

松橋町豊崎に完成した南消防署新庁舎の落成式が11月30日行われ、連合長の田口信夫宇土市長ら、来賓・各種関係者100人が出席。宇城地域の防災拠点整備を祝いました。

庁舎建設に至る経緯としては、平成11年の台風18号による高潮災害を受けた不知火町から消防分署新設の要望が強かったこと、昭和49年に建築した中分署の老朽化や合併した宇城市に見合う防災拠点が必要になったことなどがあります。地元市長あいさつでは、代理の飯田精也副市長が「消防力の広範な活動となるもので市民の期待と信頼に応えたい」とあいさつ。

同署は約11,408平方メートルの敷地に、耐震で準バリアフリー構造、個室の仮眠室などを備えた2階建ての本庁舎と訓練棟が2棟、夜間でも操法訓練ができる屋外訓練場があります。

バスで花と観光名所巡り うきうき花のバスツアー

12月1日、市内の花の生産地や観光名所を巡る「うきうき花のバスツアー」（市観光物産協会主催）があり、熊本市などから約130人の参加がありました。

ツアーは、不知火町と三角町を回る「花酔い気分でゆったりコース」と松橋町から豊野町、小川町を回る「花に誘われてしあわせコース」の2コース。

松橋町から訪ねるコースでは、ゴトナーセリーを訪問した後、アグリパーク豊野で旬の野菜や果物を購入。風の館「塩屋」では、郷土料理を取り入れたおいしいランチを食べました。その後、うき洋蘭園や嶋崎園芸も訪問し、美しい花を楽しみました。



風の館「塩屋」で昼食をとる参加者たち

みんなで考える地球温暖化防止 海東小でCO₂測定実験



実験結果を興味深く見つめる子どもたち

11月29日、環境問題に取り組んでいるEcoシティー研究会・どんぐりの木代表の若城浩史さんと株式会社ユー・ドム（水戸市）の営業部長で茨城大学の非常勤講師でもある岡田政和さんが小川町の海東小学校を訪れ、環境問題についての実験を行いました。

児童たちは、密閉した容器に植物を入れ、日光を当てると容器内の二酸化炭素濃度がどう変化するのか、人の吐く息には二酸化炭素がどのくらい含まれているのかなど、CO₂測定器を使って目に見えない二酸化炭素の存在を数字として確認することができました。また、緑のおかげで二酸化炭素が少なくなることや自動車の排気ガスが二酸化炭素を増やしていることなどもしっかり学ぶことができました。